



九州地区の仏社の友が一堂に会し熱く語る

第24回仏教壮年熊本大会
熊本教区仏教連盟50周年大会

昨年10月30日(日)、熊本城ホールにおいて、「浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い 第24回仏教壮年熊本大会 熊本教区仏教連盟50周年大会」が開催され、本教区仏教連盟50周年大会が開催された。大会に参加いただいた沖繩特区仏教壮年会連盟永山盛実理事長にご報告いたします。

この度、熊本教区で開催された本大会に参加いたしました。コロナ禍が続く中、県外での行事は久しぶりで、少し戸惑いながらの参加でした。

仏教壮年熊本大会

九州地区の仏社の友が一堂に会し熱く語る



《2023冬・第117号》
発行 浄土真宗本願寺派 沖繩県宗務事務所
発行人 中岡 順 忍
〒900-0005 沖繩県那覇市天久2-18-2
電話 (098) 860-7009
ファックス (098) 860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp



翌日、大会の開会式では、根原八十和副理事長に沖繩特区仏教連盟旗の旗手を務めていただきました。

登壇する永山理事長(番右)

大会会場にて、参加された(左から)菊城住職、仁さん、永山さん、根原さん

沖繩特区仏教壮年会連盟は大会前日の29日(土)に熊本入りし、沖繩特区からの参加者による懇親会を開催しました。このところ行事などでもゆとり話す機会をもてない皆さんと、「仏社の今後について」「研修会の内容」など、連盟活動について意見を交換しました。熱い思いをもった沖繩特区の朋友との語らいに、初日はあつという間に過ぎました。

私は各教区の理事長と共にステージに登壇しました。理事長として初めて大会に参加し、緊張もありましたが、各教区の皆さんと面識を持つことができ、教区それぞれの状況や理事長方の熱い思いに触れることができました。

次回の開催は、2025(令和7)年度、鹿児島教区での開催です。次回もぜひ参加したいと思っております。

(理事長 永山盛実)



2022 除夜会 元旦会 2023

昨年12月31日(土)、沖繩別院と久米島布教所において午後11時30分から除夜会を修行しました。長引く新型コロナウイルス対策として今年も規模を縮小し、参拝の皆さんにはマスクを着用いただき、アルコール消毒を励行しての開催となりました。

雨が続く年末でしたが、大晦日は雨雲なく冷え込みも弱まり、沖繩別院は約500名、久米島布教所には約200名と大勢のご参拝をいただきました。

別院では、除夜会法要後、中岡順忍輪番が新年を迎えるにあたってご挨拶を行い、除夜の鐘を撞き始めました。ご参拝の皆さんには長い列にお並びいただき、それぞれの思いを胸に鐘を撞かれていました。

昨年に引き続き、仏教婦人会の皆さんのお手伝いにより、鐘撞きにいられた方に温かい飲み物と、参拝記念としてカレンダー、お子さんにはお菓子の詰め合わせをお配りし、午前2時頃に終了となりました。

久米島布教所では、職員のお勤め後、年明けの力ウントダウンを行い、午前0時に鐘を撞き始めました。今回も関係者の方々にお手伝いいただき、大人にはお屠蘇を振る舞い、別院同様カレンダーやお菓子、みかんをお渡ししました。ご参拝の皆さんは新年に思いをはせながら笑顔で鐘を撞き、午前1時すぎには参拝者は終了となりました。



も落ち着いて終了となりました。まだまだ寒暖差のはげしい日々が続きます。皆さんも体調には十分ご注意ください。



(上) 研修会で中岡会長のお話を聞く皆さん (中) 役員の方による読経 (下) 笑顔が広がる交流会の様子



仏教壮年会連盟役員会、研修会を開催
議論が交わされ、次年度の展望が語られる

昨年12月10日(土) 午後2時から沖縄別院において「沖縄特区仏教壮年会連盟第一回役員会」を開催し、次年度の活動について役員の方からご意見を頂戴しました。引き続き午後3時から、本堂にて「沖縄特区仏教壮年会連盟研修会」を開催しました。講師は中岡順忍連盟会長が務めました。中岡会長は「仏教壮年会の活動について」をテーマに、資料を配付し、ご自坊の仏教壮年会40年の歩みについてのエピソードを交えて、お話ししました。

終了後には交流会を開き、参加者同士の親睦を深め、今後の仏教

活動について意見を交わしていたことができました。

「今回はこんな研修会をした」「仏教の輪を特区内に広げていこう」など、熱心な声があがっていました。

仏教壮年会連盟は今後も1年に1回の研修会を開催し、全か寺・布教所にご案内をいたします。皆さんふるってご参加ください。

社会福祉協議会に寄付

昨年10月26日(水)、沖縄別院は社会福祉事業貢献の一環として、那覇市社会福祉協議会、浦添市社会福祉協議会、久米島町社会福祉協議会に寄付を行いました。沖縄別院では毎年、別院のある浦添市、寺務所のある那覇市・久米島町に寄付を行っています。今後も社会福祉事業の推進に貢献させていただきます。



(上) 美しく荘厳された久米島布教所の内陣 (中左) 法話をする中岡輪番 (中右) 門徒代表によるお焼香 (左下) 南国の太陽に照らされる布教所正面玄関

久米島布教所 宗祖親鸞聖人報恩講法要
11月修行となつて初の報恩講つとまる

昨年11月20日(日) 久米島布教所にて宗祖親鸞聖人報恩講法要を修行しました。

報恩講とは、浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人のご命日をご縁とし、阿弥陀さまのみ教えに出遇えたことを喜び、皆とともに阿弥陀さまのみ教えを聴聞させていた

だく法要です。

布教所では1昨年まで2月第3日曜の修行でしたが、11月に修行することになりました。

親鸞聖人のご命日は1月16日(旧暦の11月28日)といわれています。では、布教所ではなぜご命日と違う日に法要を行うのでしょうか。それは、ご命日に京都の西本願寺に参拝するため、全国にある浄土真宗の寺院では1月16日以外の日に報恩講を修行します。皆さんもぜひ、1月16日には西本願寺にお参りください。

さて、久米島布教所では午後7時から法要。

法要後、中岡順忍輪番から「私たちは様々な出遇いをします。その中にはきつと、良き師といえる方がいらつしやるでしょう。学校の先生や、両親、祖父母から、多くのことを教えていただきます。皆さんも、ご恩に報謝すべくお仏壇に手を合わせられていると思います。私が、阿弥陀さまのみ教えに出遇うことができたのは、親鸞聖人が私たちにお示しくくださったからです。親鸞聖人のご命日を機縁として、阿弥陀さまのみ教えに出遇えたことを一緒に喜びましょう」と法話をしました。

沖縄別院では、1月22日(日)午前10時から本堂にて報恩講を修行します。

皆さんもお誘いあわせのうえ、ぜひご参拝ください。